



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東
 コード番号 6166 URL <http://www.nakamura-gp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 増田 宏文 (TEL) 072-274-1072
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,595	142.8	88	—	76	—	45	—
29年3月期第1四半期	1,069	△31.1	0	△99.7	△71	—	△48	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 46百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △52百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.69	9.68
29年3月期第1四半期	△10.56	—

(注) 平成29年3月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,658	5,062	40.0
29年3月期	12,195	5,014	41.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,061百万円 29年3月期 5,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	184.4	400	—	350	—	300	—	64.12
通期	11,500	130.3	800	—	700	—	600	—	128.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	4,678,900株	29年3月期	4,678,900株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	ー株	29年3月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	4,678,900株	29年3月期1Q	4,599,768株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復基調を受け、生産及び輸出が好調に推移するとともに、雇用情勢の継続的な改善や、設備投資、個人消費の持ち直し等により緩やかな成長の動きが見られました。一方では、米国トランプ政権による経済政策の行き詰まり、欧州政治情勢の不安定化、朝鮮半島における地政学リスクの高まり等により、国内外の景気先行きに対する不確実性は継続しております。

このような状況下、当社グループは、主力事業である電子材料スライス周辺事業において、主力製品であるダイヤモンドワイヤの需要が拡大し、また、昨年12月に開設した沖縄工場の本格稼働による増産効果もあり、前年同期に比べ売上高が大幅に増加することとなりました。

また、利益面は、増収に伴う押し上げに加え、原価低減策を強力に推し進めた結果、前期の大幅な赤字から黒字転換するに至りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,595百万円（前年同期比142.8%増）、営業利益は88百万円（前年同期は0百万円の営業利益）、経常利益は76百万円（前年同期は71百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（前年同期は48百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子材料スライス周辺事業

電子材料スライス周辺事業においては、主力製品であるダイヤモンドワイヤが、従来の供給市場であった単結晶シリコンウエハ市場に加え、新たに多結晶シリコンウエハ市場で急速に普及が進みました。また、沖縄工場の本格稼働等による生産量の拡大もあり、前年同期から受注、販売量ともに大幅に上回ることとなりました。

利益面についても、増収効果に加え、前期より取り組んできた原価低減策において一定の成果が得られた結果、前期の赤字から黒字転換を図ることができました。

これらの結果、売上高は2,076百万円（前年同期比229.3%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期比319.9%増）となりました。

② 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業においては、実装機向けノズル、工作機械向け耐摩工具とも好調に推移し、また、新規顧客開拓にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は197百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は44百万円（前年同期は2百万円のセグメント利益）となりました。

③ 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業においては、国内外ともに各種ノズルの受注が堅調に推移し、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は321百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期比81.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

現金及び預金の増加164百万円、受取手形及び売掛金の増加605百万円、原材料及び貯蔵品の増加185百万円、商品及び製品の減少140百万円、その他流動資産の減少350百万円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ463百万円増加し12,658百万円となりました。

② 負債

短期借入金の増加300百万円、流動負債その他の増加119百万円、固定負債その他の増加213百万円、長期借入金の減少130百万円、役員退職慰労引当金の減少137百万円等により、負債は前連結会計年度末に比べ415百万円増加し7,596百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金の増加45百万円等により、純資産は前連結会計年度末に比べ47百万円増加し5,062百万円となりました。

この結果、自己資本比率は40.0%（前連結会計年度末は41.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,649,913	1,814,219
受取手形及び売掛金	1,474,887	2,080,496
商品及び製品	440,016	299,653
仕掛品	298,956	317,162
原材料及び貯蔵品	689,062	874,798
その他	652,149	301,490
流動資産合計	5,204,986	5,687,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,100,027	2,067,039
機械装置及び運搬具(純額)	2,672,748	2,626,671
土地	1,204,139	1,204,139
その他(純額)	533,301	593,776
有形固定資産合計	6,510,216	6,491,626
無形固定資産	122,405	114,111
投資その他の資産	357,696	364,864
固定資産合計	6,990,318	6,970,603
資産合計	12,195,305	12,658,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,976	609,728
短期借入金	1,540,000	1,840,000
1年内返済予定の長期借入金	1,086,458	1,098,841
未払法人税等	11,986	18,784
賞与引当金	79,588	39,262
受注損失引当金	13,936	10,570
その他	481,060	600,153
流動負債合計	3,754,008	4,217,341
固定負債		
長期借入金	2,437,330	2,306,811
役員退職慰労引当金	137,840	—
退職給付に係る負債	225,516	232,811
その他	626,138	839,271
固定負債合計	3,426,825	3,378,894
負債合計	7,180,833	7,596,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,037,608	3,037,608
資本剰余金	1,735,733	1,735,733
利益剰余金	230,179	275,532
株主資本合計	5,003,520	5,048,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	2,453
繰延ヘッジ損益	11	△29
為替換算調整勘定	10,907	9,898
その他の包括利益累計額合計	10,951	12,323
新株予約権	—	989
非支配株主持分	—	—
純資産合計	5,014,471	5,062,186
負債純資産合計	12,195,305	12,658,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,069,159	2,595,660
売上原価	713,247	2,051,771
売上総利益	355,911	543,888
販売費及び一般管理費	355,082	455,735
営業利益	829	88,152
営業外収益		
受取利息	44	257
受取配当金	44	56
受取保険金	—	5,195
業務受託料	8,460	—
受取賃貸料	9,840	—
その他	5,248	3,268
営業外収益合計	23,636	8,777
営業外費用		
支払利息	9,760	11,944
持分法による投資損失	22,527	—
為替差損	34,103	4,944
業務受託原価	7,786	—
賃貸収入原価	6,482	—
株式交付費	13,354	—
その他	1,500	3,200
営業外費用合計	95,514	20,089
経常利益又は経常損失(△)	△71,048	76,840
特別利益		
固定資産売却益	0	229
特別利益合計	0	229
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	30	—
特別損失合計	34	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△71,083	77,070
法人税、住民税及び事業税	1,283	14,148
法人税等調整額	△23,810	17,569
法人税等合計	△22,526	31,717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,556	45,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,556	45,353

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,556	45,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,668	2,421
繰延ヘッジ損益	248	△41
為替換算調整勘定	△2,305	△1,008
その他の包括利益合計	△3,724	1,372
四半期包括利益	△52,281	46,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,281	46,725
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	電子材料 スライス 周辺事業	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	その他 (注)2	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	630,715	165,012	273,431	—	1,069,159	—	1,069,159
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,410	—	—	1,410	△1,410	—
計	630,715	166,422	273,431	—	1,070,569	△1,410	1,069,159
セグメント利益又は損失(△)	17,097	2,395	22,045	△43,910	△2,371	3,200	829

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これはグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 その他のセグメント利益又は損失の主なものは、新規事業開発室における研究開発費38,076千円であります。

3 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	電子材料 スライス 周辺事業	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	その他 (注)2	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	2,076,683	197,549	321,426	—	2,595,660	—	2,595,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	307	1,931	—	—	2,238	△2,238	—
計	2,076,991	199,480	321,426	—	2,597,898	△2,238	2,595,660
セグメント利益又は損失(△)	71,785	44,298	39,929	△72,398	83,614	4,537	88,152

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これはグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 その他のセグメント利益又は損失の主なものは、新規事業開発における研究開発費59,146千円であります。

3 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡及び同資産のリース契約

当社は、平成29年7月21日開催の取締役会において、当社の所有する下記固定資産の譲渡及び同資産のリース契約を決議し、平成29年7月1日付けでリースを開始いたしました。

(1) 譲渡の理由

経営基盤の強化に向けた資金調達を目的としており、ダイヤモンドワイヤの生産拡大等による増加運転資金に充当します。

(2) 譲渡資産の内容

資産の名称	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	リース債務の総額
ダイヤモンドワイヤ 製造装置	1,047百万円	1,047百万円	帳簿価額と同一のため 該当なし	1,047百万円

(3) 譲渡する相手先の名称

昭和リース株式会社他、計3社

なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特筆すべき事項はありません。